

日医発第 1002 号（地域）
令和 4 年 8 月 26 日

都道府県医師会長 殿

公益社団法人日本医師会
会長 松本吉郎
(公印省略)

診療・検査医療機関（発熱外来診療体制）の拡充について

貴職におかれましては、新型コロナウイルス感染症へのご対応にご尽力賜り、厚く御礼申し上げます。

発熱外来診療体制を担う診療・検査医療機関の拡充につきましては、令和 4 年 7 月 27 日付日医発第 786 号「発熱外来診療体制のさらなる強化について」等の文書を以て、貴会にご協力をお願いしてまいりました。

おかげさまで、貴会及び貴会管下郡市区医師会のリーダーシップの下、診療・検査医療機関はおよそ 4 万施設に達し、日々、高止まりする新規感染者への対応に従事していただいております。

その上で、誠に恐れ入りますが、地域における役割分担や連携をさらに推進していただき、診療・検査医療機関において陽性が判明した患者に対して必要な健康観察・診療を実施していただく体制が一層強化されるよう、ご高配のほどお願いいたします。

本会といたしましても、発熱外来への各種支援（医療機関数の拡充のための支援、抗原定性検査キットの医療機関への優先供給、HER-SYS の入力負担軽減に向けた検討、ワクチン接種支援や現行の各種支援の継続）につき、加藤勝信厚生労働大臣に要望書を提出する等の対応をしてまいりましたが、さらに、感染患者数の増加による医療用解熱鎮痛剤の不足への対応に苦慮しているとの医療現場の声を重く受け止め、厚生労働省に対して改善を求めております。また、令和 4 年 8 月 25 日付文書にて、日本製薬団体連合会、日本製薬工業協会及び日本ジェネリック製薬協会に対しても増産及び医薬品の安定供給に向けた取り組みを強く要望したところであります。

よろしくお願い申し上げます。